



7 キナリ舎

大岡団地再生プロジェクト

法人データー
 合同会社キナリ舎
 代表者:西島由紀子
 構成人数4名
 活動歴2年
 主な活動地:伝馬公園及び大岡団地
<https://www.instagram.com/kinarisha/>
 Mail:kinarisha.y@gmail.com

計画
 達成度
60%

事業目的 【大岡団地活性化】

このまま放置し続ければ、空き家が増え治安の悪化が懸念される大岡団地の空き家の減少と住民の若年層の増加を目標に様々な世代が安心して暮らす団地、エリアとすることを目指す。若年層の住民が増加する事で団地に活気が生まれる

【①定期マルシェの開催】これまで分譲型の団地を知らなかった世代に団地を知ってもらう若年層の住まいへの思考転換

【②空き店舗を利用したコミュニティスペースの創出】買い物の不便の解消と独居高齢者のコミュニティ構築や子育て世代の親子の交流の場とする

【③空き家のリノベーション・家守業】幅広い方に団地内を見て住む事をイメージするきっかけの場作り

現状と目標 【団地住民の関係人口の増加とアサイチの定着化】

【①定期マルシェの開催】団地住民の来場増加、ダンチアサイチの定着化および売上増

【②空き店舗を利用したコミュニティスペースの創出】空き店舗の交渉が難化。ハードに拘らずソフト面で住民の場づくりを進めていく

【③空き家のリノベーション・家守業】団地に興味を持った方に積極的な内見や視察を実施。

2022年度には実際に移住者や市内移動で若い世代の増加が見込めている。



活動と成果 【関係人口の増加、団地の空き家に東京からの移住決定】

当初想定していたより、活動として大きな効果を生んでいると考えております。

コロナ禍の中、活動が限られることもありましたができることをやってきた結果、多くの方に大岡団地を知ってもらうきっかけを作れました。

活動を続けてきた事で、東京から移住してきた新婚夫婦が団地の空き家に住む事になり、現在大家業家守業に挑戦しております。

実際に活動が評価され、沼津市まちづくり政策課による沼津の暮らしラボにおいても地域プレイヤーとして話をさせていただきました。

活動を知った皆さまの応援やサポートにより、沼津信用金庫さまをはじめとした「企業」、東京都市大学や大岡中学校など「学校」、「自治会」、「住民」そして「行政」の連携した地域作りへ繋がっていると感じております。

▼活動実績

団地ごはんプロジェクト(2020年5月2日、14日に開催)

オオオカダンチマルシェ(2020年8月から2021年7月までに8回開催)

ダンチアサイチ(2021年12月より2022年7月までに6回開催)



振り返り課題 【人々の“暮らす”に寄り添う】

これまでの活動により関係人口が増加し、周囲の方々から移住希望者に対して「団地いいよ」といった声をかけてもらい、実際に移住にも繋がりました。また団地内での交流もこれまで以上に活発になっており、ようやく効果が生まれ始めたなど実感しています。

またキナリ舎は法人化し、合同会社キナリ舎となりました。

運営開始された「シェアオフィスシンマチ」では移住してきた方のコミュニティ作りや、新聞社と協働している転職フェアなども含め「住む」「働く」「繋がる」といった「暮らす」に寄り添ったサービスを団地・企業・行政と連携し行いたいと考えます。

相関図

